



まつがおか

千葉市立松ヶ丘小学校

夏休みが終わり、前期後半の始まりです。

校長 吉田 英明

44日間にわたる夏休みが終わり、子どもたちの元気な声が学校に戻ってきました。朝、校門に立っていると、「おはようございます。」という挨拶とともに、「校長先生、じゃんけんしよう。」「〇〇に行ってきたよ。」などすてきな笑顔で話しかけてくれる子どもたちの姿があります。子どもたちから元気をもらっています。大きな事故の報告もなく、無事に夏休み明けを迎えることができホッとしています。

さて、夏休み中のこととなりますが、8月5日には、『おやじの会』主催の除草作業が行われました。まだ、朝の7時だというのに日差しがきつく、その中を汗びっしょりになりながらも黙々と草取りをしてくださいました。約50名が1時間以上取り組んだおかげで、学校の敷地がずいぶんきれいになりました。お父さん、お母さんと共に数名の子どもたちも草取りに参加してくれました。朝早くから、そして暑い中、ありがとうございました。

また、8月26日には『松ヶ丘地区ふるさとまつり』が開催されました。数ヶ月も前から計画が練られ、お盆明けにはステージや提灯を吊るすための柱が設置されました。正門には新たに鉄柱の門が建てられ「ふ」「る」「さ」「と」「ま」「つ」「り」と書かれた提灯が掲げられました。午後3時前には4年ぶりのお祭りを楽しみにしていた地域の人たちが来場し、にぎわっていました。無料のくじ引きやアイスの配布、たくさんの屋台の出店など、これだけで十分に楽しめるのですが、『松ヶ丘地区ふるさとまつり』のすばらしいところは様々な世代のステージを見ることができることです。午後4時から始まった「こどもステージ」では、仲間やきょうだい、幼稚園の子まで参加して、歌ったり、踊ったりと素敵なパフォーマンスを披露してくれました。午後5時から5・6年生による「よさこいソーラン」や松ヶ丘中吹奏楽部の演奏、千葉南高校ダンス部によるダンスパフォーマンスなどお祭りを盛り上げました。すっかり暗くなった19時半からは3組の地域の方のグループによる演奏もありました。

コロナ禍のために4年ぶりの開催となりましたが、子どもたちのうれしそうな顔を見ることができたと共に、松ヶ丘地区の地域の力を感じることができました。保護者の皆様、地域の皆様ありがとうございました。

これから前期後半のまとめの時期となります。心身ともに一回り成長した子どもたちと共に、これまで以上に充実した活動が期待できそうです。早速、6年生が来週から鴨川方面に2泊3日の農山村留学に出かけます。準備がほぼ整い、あとは仲間と共にすてきな体験をするばかりです。

明日から9月とはいえ、まだまだ暑い日が続きます。学校では、健康面での配慮を行いつつ、1日も早く学校生活のリズムを取り戻し、元気に楽しく活動していけるように支援していきますので、各ご家庭でもご協力をお願いします。